

事業名	身体障害者総合援護費		調査番号	27	
細事業名	全国障害者スポーツ大会派遣費補助金	財務コード	080515		
担当部課室	福祉保健 部 障害福祉 課 地域生活支援 担当 (内線)		3220		

## I 事業の概要

実施期間	始期 H13 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(山梨県障害者スポーツ協会)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	全国障害者スポーツ大会への出場選手	競技力が向上された状態で全国大会へ出場できる	障害者スポーツの普及及び競技力の向上
内容	全国障害者スポーツ大会への出場選手を対象とした強化練習、合宿及び選手の大会参加への助成 ○補助先:山梨県障害者スポーツ協会 ○補助率:10/10 ○対象経費:強化練習費、全国大会への選手団派遣費、関東地区予選会参加費(団体競技) ※令和元年度の日程:強化練習7~10月のうち5日間、全国大会(茨城県)10/12~14(4日間)		

## II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度	
活動指標	全国大会派遣選手数(個人、団体)	目標	35	41	39	43	42	37	25
		実績(見込)	38	34	57	36	18	21	
		達成率	108.6%	82.9%	146.2%	83.7%	42.9%	56.8%	
		達成区分	b	b	a	b	c	c	
成果指標	全国大会メダル獲得数(1~3位)	目標	28	27	27	23	18	14	13
		実績(見込)	26	24	19	11	13	14	
		達成率	92.9%	88.9%	70.4%	47.8%	72.2%	100%	
		達成区分	b	b	c	c	c	b	
決算(予算) 単位:千円		11,925	11,344	10,787	13,214	9,348	8,009	10,517	

## III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	C	評価	平成30年度、令和元年度は団体競技が不出場であったため、意図した成果は十分ではなかった。団体競技が地区予選で勝ち残れるよう年間を通じての活動が必要である。
成果指標	C		平成29年度以降メダル獲得数が減少傾向であり、競技力を向上させる必要がある。

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
- ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

## IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

関係与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ( )
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	全国大会出場を個人目標として、他事業(スポーツ指導者派遣)との連動において、県全体の障害者スポーツ環境の向上が見込まれる。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )
その他	説明	
見直しの必要性	有	予算規模が出場人数(団体競技)及び開催地(移動宿泊手段)によって大きく変動するため、より効率的なコスト管理の見直しが必要である。

## V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	令和2年度は遠隔地(鹿児島県)開催となるため、移動コストの管理を委託先と事前協議し、支出を抑制する必要がある。
----------	----	---

- ・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。